



学びの個別最適化 ⑪

自己の生き方・あり方に迫る学び

これが、個別最適な学びの終着点だと思います。

朝日新聞教育ポータルの森川正樹先生の文章をさらに紹介します。

自学ノートが続けることで、根本的な勉強の習慣がつきます。机に向かうのがしんどい子はまずは10分から始めて少しずつ延ばしていき、自分から机に向かう素地を養ってほしい。本来、子どもは好奇心の塊です。好奇心はあらゆる勉強の源。私は年度初めに「勉強は義務じゃなくて権利だよ」と子どもたちに伝えます。勉強を「やらされる」から「やりたい」にシフトしていくのに、自学ノートは高い効果を発揮します。見開き2ページにまとめることで編集力や構成力も磨かれ、書くことに慣れる効果もあります。自学ノートをやっていると授業ノートにも変化が出てきます。ノートは「自分でデザインするもの」という意識に変わるんですね。板書に加えて自分の意見をメモして、世界で一つのノートを作るようになります。低学年でも「青いモコモコの吹き出しを書いて、その中にメモしよう」と教えると、どんどん書くようになります。モコモコが書きたくてたまらないんですね。板書を早く写し終わった子はメモでノートを埋めるので、退屈しません。自分のノートが誇らしいから、授業が終わると「写真撮って」と持ってきます。

学びへの意欲づくり そして 学習習慣づくり において絶大な効果が期待される「自学ノート」ですが、**中学校において、状況は一変します。**

テスト前はmy自学ノート

毎日ノートの良い点は、
毎日勉強する習慣がつくこと。
しかし、デメリットもあります。
毎日ノートが終われば、その日の勉強終了!!
そんな習慣もついてしまうんですね～
テスト前に、この習慣は非常にマズイですよ

→この生徒は、学校に提出するノートとは別にテスト前は、my自学ノートを作っています。(この日は6ページしています。)
テスト前は、対策問題集やマスプリなど演習グッズが充実します。
上位を目指す生徒は、是非my自学ノートの作成に挑戦してください。

これも、ネットからのものです。

この文章が意味していることは、とっても重大なことなんです。

毎日勉強する習慣がつくこと

この生徒は、学校に提出するノートとは別に
テスト前は、my 自学ノートを

上位を目指す生徒は、是非

ここまでで、理解されましたか。

「学校に提出するノートとは別に」という意味は、学校に提出するものは、テスト前には適切ではないということなんです。

ちゃんと家で「勉強」しました!

ということ、担任(学校の先生)に示すためのものになっていることを意味しています。

そして、おそらくそれは、上位を目指す生徒にはもちろんですが、上位を目指さない人にも、大切な『ノルマ』になっているんです。

上位を目指す人は、その『ノルマ』をすませた上で、しっかりとテストで点が取れるための、学校に提出はしない

my 自学ノート

で、しっかりやるのですよ!ということなんです。

残念ながら、これも現実なんです。

